



城山かたくりの里にて
平尾 隆

発行 一般社団法人 相模原市医師会

厳しかった寒さもようやく緩んできましたね。春風は皆さんのもとにもう届いていますか？
さて、今回のテーマは一つ目が「認知症と運転について」というみんなで向き合っていく必要のある大事な問題を取り上げました。そして二つ目のテーマはとても身近な病気である「そけいヘルニア」です。どちらも皆さんの大切な家族を守るためにもお役に立てる内容です。是非ご一読ください。

認知症と運転について

一法改正から一年を経た今、求められること

はじめに

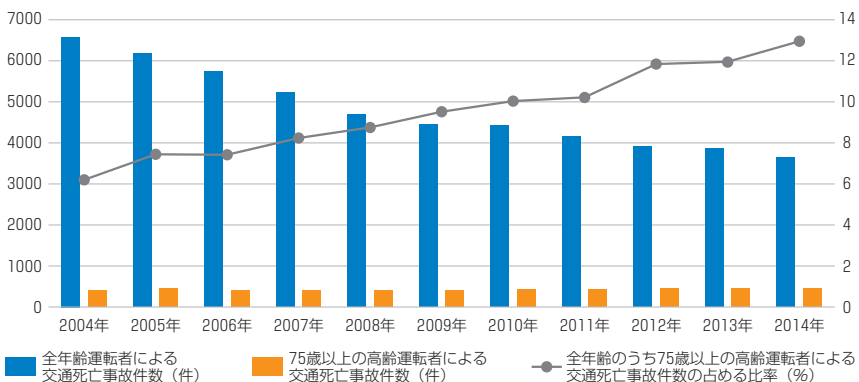
2017年3月12日、改正道路交通法が施行されました。これにより、75歳以上の高齢者は運転免許を更新するときと特定の違反があったとき、記憶力や注意力等を調べるテストを受けること、テストに合格しない場合には医療機関を受診して認知症の有無を調べるのが義務付けられました。

施行されて一年がたとうとしています。ここでは改正の理由、認知症と交通事故の関係を踏まえ、これから求められることを中心に整理したいと思います。

道路交通法の一部が改正された理由

道路交通法の一部が改正された理由は、認知症のある高齢者の交通事故を防止するためとされています。図1に2004年から2014年の全年齢の運転者による交通死亡事故件数、75歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数とその占める比率を示しました。全交通死亡事故件数は緩やかに減少傾向を示しています。しかし75歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数は減少傾向を示さず、その占める比率は増加傾向を示しています。

図1 75歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数と全年齢運転者の中で占める比率の推移



だからといってその理由の全てが、認知症によるというわけではないはずです。そもそもわが国は超高齢社会です。全人口のうち高齢者が占める割合は多く、今後も増えると予測されています。高齢者が多ければ高齢運転者も多くなるわけで、高齢運転者による交通事故が減らないのも当然のことかもしれません。また交通事故にはさまざまな要因が関与します。そうした中で、認知症のある人だけが運転免許を持つことを制限されるという法に対しては反論も少なくありません。とはいえ、認知症と交通事故の間には関連性があることを示す研究報告もあります。

認知症と交通事故の関連性

認知症というと記憶が低下し、物忘れが増えるということをイメージする人が多いかもしれません。運転に記憶力はそれほど必要ないのではと思う人もいらっしゃるかもしれません。

しかし認知症は運転に必要な注意力、判断力に強く影響します。場所を認識する能力、物の形態を認識する能力にも影響を及ぼします。その原因

疾患の中には、一つの事柄ばかり気になってしまうという現象が目立つものや、意識レベルを変動させやすくするものもあります。こうした理由から認知症は交通事故と関連すると言われています。

道路交通法の改正だけでは十分ではない

高齢運転者による交通事故が減少するはずだから、法改正は素晴らしいことと評価する人もいるかもしれません。しかし残念ながらそれだけで十分とは言えません。交通機関が十分ではない地域で暮らしている高齢者にとって、運転免許を失うことは死活問題です。運転免許を失っても困ることがないように、コミュニティバスの拡充、タクシー券の配布などによる代替策を始めている地域もあるようですが、まだまだ十分とは言えません。

おわりに

改正道路交通法施行以降、免許の更新に際して指示を受けた方が当院にも来院されています。ご来院いただいた方には、詳細にこれまでの経過を教えていただき、いくつかの検査が実施されます。図2は来院された方にスクリーニングのため実施される認知機能検査の一つであるミニメンタルステート検査(Mini-Mental State Examination: MMSE)の一部です。ご来院された方たちの中で、認知症が強く疑われるという結果の方はそれほど多くはありません。認知症以外の認知機能障害をもたらす別の病気が見つかる方もいらっしゃると思います。そうした意味ではこの改正道路交通法施行にもメリットがあるのかもしれません。

図2

質 問 事 項		得 点
1	今年は何年ですか？	年 0 1
	今季節は何ですか？	季節 0 1
	今日は何月何日ですか？	月 0 1 日 0 1
	今日は何曜日ですか？(年月日・曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	曜日 0 1
2	ここは何県ですか？	県 0 1
	ここは何市ですか？	市 0 1
	ここは何病院ですか？	病院 0 1
	ここは何階ですか？	階 0 1
	ここは何地方ですか？(例：関東地方)	地方 0 1
3	これから言う3つの言葉を書いてみてください。あとでまた聞きますので、よく覚えておいてください。(以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○をつける。1回行った時点で採点し1回で覚えられない場合は6回を限度として繰り返す。)	a) 0 1
		b) 0 1
		c) 0 1
4	100から7を順番に引いてください。(100-7は？ それからまた7を引くと？ と質問する。5回行ったうち正解数を記入あるいは「フジノヤマ」を逆唱させる。) (マヤノジフ-5、ヤマノジフ-3：正解の位置と合っている文字の数を記入)	0 1 2
		3 4 5
5	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a) 0 1
		b) 0 1
		c) 0 1
6	(時計を見せながら) これは何ですか？	0 1
	(鉛筆を見せながら) これは何ですか？	0 1
7	次の文章を繰り返してください。「みんなで 力を合わせて 綱を 引きます」	0 1
8	3段階の命令 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りたたんでください」 「机の上に置いてください」	0 1
		0 1
		0 1
		0 1
9	次の文章を読んで、その指示に従ってください。「目を閉じてください」	0 1
10	何か文章を書いてください。(文法や句読点は不正解でもよい)	0 1

改正道路交通法が施行されて一年がたとうとしています。交通事故は加害者にも被害者にも深い悲しみを強めます。交通事故を減らすことは私たちの大切な目標です。しかし「認知症を発症しても安心して暮らすことができること」も私たちの大切な目標だと思います。運転の代替策、認知症があっても安全に運転できる技術の開発など、さまざまな取り組みが求められています。年齢を重ねても安心して暮らすことのできる街づくりのために、一人一人が考え、意見を出し合い支え合える街づくりの潮流が生まれることを願ってやみません。

(相模原市認知症疾患医療センター)



そけいヘルニア

～股のつけ根近くがふくらむ病気について～

はじめに

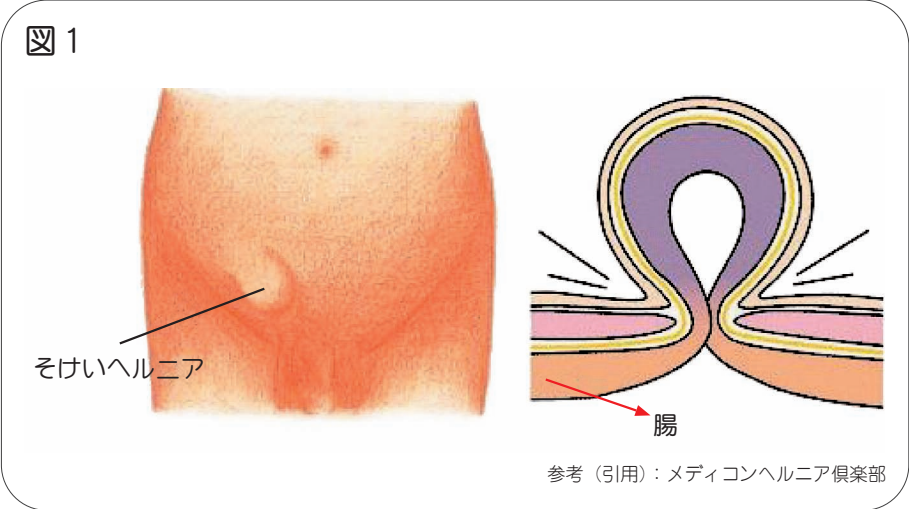
そけいヘルニアとは「そけい部」という場所にかかる「ヘルニア」という病気です。「そけい部」は股のつけ根の頭側（胴体側）で「ヘルニア」とは本来出ないはずの所に物がはみ出て起きる病気です。「そけいヘルニア」とはそけい部の皮膚の下に腸や内臓脂肪が腹膜に包まれたままだけでふくらみができ、痛みを伴ったりすることもある病気です。子供からお年寄りまで幅広い年齢の方に起きる病気ですが原因と手術方法が子供と大人では少し違います。

原因と症状

子供のそけいヘルニアはおなかを裏打ちする腹膜という膜が生まれつきそけい部にはみ出ているのが原因で、泣いたり踏ん張ったりおなかに強い力（腹圧）がかかるとふくらみます。中身は腸が出ることが多いため別名「脱腸」とも言われます。

大人のそけいヘルニアも生まれつきの袋が原因の事が多いです。おなかに力がかかる仕事を長い間していたり、咳の出やすい人などは、股のつけ根に負担がかかり続けたため年を重ねてからふくらんで来ます。痛みがなくても年月がたつとだんだん大きくなり、男の人では陰のうまで腫れてくる人もいます。

大人も子供も横になりおなかの力を抜いて膨らみを押してあげると元に戻ることが多いですが、激しい痛みを伴い、固く戻らなくなる（陥頓）と緊急で手術が必要になることもあるので診断が付いたら早めに手術すると良いでしょう。



治療

そけいヘルニアは薬で治るものではなく手術が必要です。日本でも年間約16万人の方が手術を受けています。（2010年調べ）

子供のそけいヘルニアは袋の根元でしばって切除するだけで済みますが、大人の場合は、はみ出た袋の処理に加えて弱った股のつけ根をメッシュなどで補強する手術が必要になります。

手術方法も3～4 cmの切開で手術を行う従来の方法のほかに腹腔鏡を利用した手術や日帰りで手術してくれる医療機関もあります。

おわりに

そけいヘルニアはありふれた病気なのですが治療には手術が必要です。お近くの外科で相談しましょう。

（相模原市医師会 櫻井 雅之）

相模原市内科医会 市民公開講座

狭心症と心筋梗塞 ～あなたに忍び寄る動脈硬化～

日時 平成30年3月10日（土）午後3時から

場所 相模原南メディカルセンター大会議室

講師 阿部内科クリニック 院長 阿部 純久 先生

入場無料、事前申込不要、定員先着150名

詳細は相模原市医師会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 相模原市医師会事務局 ☎042-755-3311

子ども予防接種週間のお知らせ

期間 平成30年3月1日（木）～7日（水）

主催 日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省

予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を目的として、上記期間を「子ども予防接種週間」といたしました。

期間中、協力医療機関において、通常の診療時間帯に予防接種を受けにくい人たちに対し、予防接種を行います。

※子ども予防接種週間における協力医療機関の詳細情報につきましては相模原市医師会ホームページ（<http://www.sagamihara.kanagawa.med.or.jp/>）をご覧ください。

お問い合わせ先 相模原市医師会事業課 ☎042-756-1700

4か月児健診における「乳児股関節脱臼検査」の導入について

先天性股関節脱臼の予防には生まれてからの赤ちゃんの接し方が大切です！

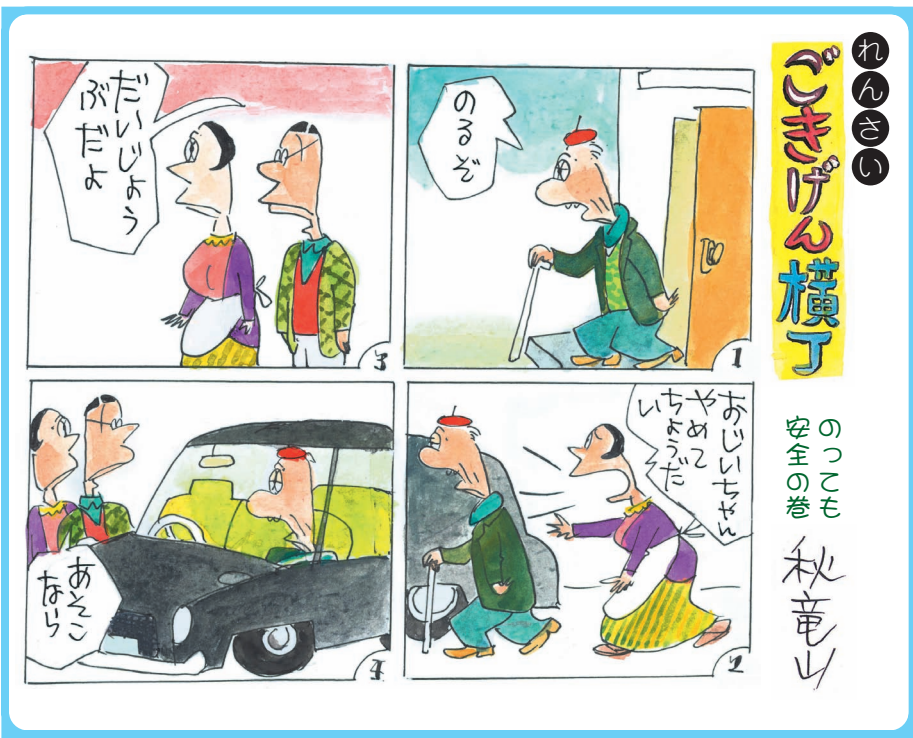
「先天性股関節脱臼」は脚の付け根の関節がはずれる病気です。その発生は1,000人に1～3人程度の病気ですが、生まれてからの抱き方や衣服など、赤ちゃんの接し方を注意することにより発生をさらに減少させ、悪化を防止することができます。

相模原市における4か月児健診での先天性股関節脱臼早期発見への取組について

平成30年度より、赤ちゃんの先天性股関節脱臼をより発見しやすくするために、4か月児健診の質問紙に股関節脱臼に関する項目を追加します。

この回答と健診時の診察で総合判定しますので、質問内容にご不明な点がございましたら、健診時にご相談ください。

相模原市 こども・若者未来局 こども家庭課 一般社団法人 相模原市医師会 公衆衛生委員会



休日・夜間の急病診療制度の利用

まず、かかりつけの医師に相談してください。かかりつけの医師が不在、近所の医療機関で診療が受けられない方は

市民のみなさんへお願い

◇診療可能な医療機関を案内します。

◇医療相談・歯科案内は行なっておりません。

◇急病で困ったときに利用してください。

◇応急診療が目的ですので、翌日はかかりつけの医師または近所の医師の診療を必ず受けてください。

◇健康保険証を必ず提示してください。されない場合は自由診療扱いとなり、費用が高額になります。

◇救急車は、生命に危険が生じた患者さんを一刻も早く運ぶためのものです。安易な利用は避けてください。

◇歯科の急病については休日急患歯科診療所☎042-756-1501へ（ウェルネスさがみはら2階）

◇服用している薬がある場合は、お薬手帳もしくは処方された薬をお持ちください。

午前9時 午後1時 午後5時 午前9時

平日

土曜日

休日

電話受付時間